(平3) '91.4.12

(第3種郵便物認可) 新聞定価(税込み)月ぎめ3,700円・1部売り150円 Business & Technology

華 クレッシェンド

占いは究極のコンサルタント

占いの玉手箱社長 竹村 亜希子さん

〈十三年ほど前に占い師として開業、占いといえば、まず街頭に出て、というイメージが強いが、この人はちょっと違う。開業してまもなく始めたのは企業めぐり。〈占い師が企業に行って、どうしんです〉

これからはイベントの時代が来ると考え、企業の販売促進部を訪れてイベントの中に占いを取り入れるよう提案したの。今でこそ占いはブームで、企業のイベントに取り上げられることも珍しくなくなったけど「非科学的なものを

なぜうちが？」とびっくりされましたね。しかしよく考えれば、占いもソフトサービスの一つだってすぐ分かると思うんだけど。

占いをビジネス化し、かつイベント企画から原稿執筆、講演までこなす。これまでの占い師のイメージを覆す人だ。常設の占いコーナーを全国で初めて名古屋市に設置するなど、近代的な占いの先駆者

〈占いの上手な使い方のアドバイスを〉

占いが足かせになってしまったり、占いに振り回されてはダメですね。占いは信じるものではなく、使うものです。だから、それをどう駆使するかです。占いが良く出たらチャンスだと考えればいいし、悪く出たらこれ以上悪くならないように注意すればいい。占いで悪い結果が出た時ふさぎ込んでしまうような人は、占ってもらわない方がいいと思う。占いは単なる情報の一つですから、うまく利用すればいいんです。

だから逆に言えば、事実を客観的に判断できる人は占いを見ることができるので、占いに頼る必要はないですね。

「運がいい、悪いは本人の考えかた次第」とあっけらかんとしている

だってね、その時は運が悪いと思っても、いつかその苦労が役に立つかもしれない。後で役に立てば、運が悪かったとは言えないでしょ。だいたいね、なにか自分でやりたいことがあった時、占いで見てもらって「悪い結果になる」と言われたらどうするのが間違なの。悪い結果になるかもと自分のやりたいことをやめたら、失敗もしない代わりに自分のやりたいこともできない。それがいい人生だと思う？ 何が運が良くて、何が運が悪いかは簡単には言えない。

だれもが必ず「この人が占い師？」と驚くほど、占い師特有のおどろおどろしさがない。自称・明るい占い師。。声を聞いただけで元気になれるような占い師を目指す。そして「占いの玉手箱」はそんな明るい占い師の集団

〈事業主からの依頼も多いとか。企業という組織が占いに頼るというのも変な気がしますが〉

いや、おかしくないですよ。コンサルタントに診断させるのと同じ。コンサルタントはデータを集め、状況に照らし合わせて分析し、これから起こることを予測する。占い師はインプットするデータがコンサルタントとは違うだけで、未来を予測する点は同じ。占いは究極のコンサルタントですよ。

（三橋洋子記者）

プロフィル

たけむら・あきこ 愛知淑徳高校卒。OL生活を経験し、その後、占い師として独立。[redacted]「占いの玉手箱」を会社組織にし、社長に。趣味は乗馬、スキー、読書。

洋子の目

占いは自分を知る手段のひとつと、占いに対して過度の思い入れがない珍しい占い師。ハキハキしたしゃべり方、素早い行動力、明るい性格…と、なにしろ元気。こんな人に占ってもらったら、どんな運命も乗り越えられそう。

「信じる」より「活用」を